

カーボン・シナジー・コンソーシアム でのクレジット創出の取り組み

J-クレジット オムニバスセミナーDAY2【創出編】

2025年10月21日

クレアトゥラ株式会社
Creattura Co., Ltd.



Creattura



会社概要（1/2）



Creattura

<Mission>

To preserve and regenerate humanity's natural heritage for future generations

かけがえのない自然を次世代へ

<Vision>

**To pioneer innovative climate solutions utilizing technology and climate finance,
in order to reduce greenhouse gas emissions and protect our planet's natural capital.**

脱炭素社会の実現と自然資本の回復へ
テクノロジーとカーボンファイナンスを駆使し、先進的なソリューションを創造します

<Values>

Do the right thing, Own the outcome, Think beyond carbon

会社概要（2/2）



※スタッフ拠点を含みます。

会社名	クレアトゥラ株式会社 / Creattura Co., Ltd.
-----	----------------------------------

住所	東京都港区赤坂四丁目15番1号 赤坂ガーデンシティ 17階 代表 03-6777-7880
----	---

設立日	2022年7月4日
-----	-----------

資本金	2億4030万円
-----	----------

代表取締役CEO	服部 倫康
----------	-------

主要株主	主要経営陣、DBJキャピタル株式会社、三井 住友海上キャピタル株式会社
------	--

地域と連携した事業の取組事例

- » 個別のプロジェクトに対するアプローチに加えて、地域と連携した取り組みにも積極的に関与しており、千葉県匝瑳市の脱炭素先行事業に参加し、環境省より採択を受けています。
- » こういった取り組みから生まれる事例を他地域に横展開することで、クレジットの面的な創出を推進しています。

匝瑳市：そうさ！匝瑳モデルで脱炭素！

～ソーラーシェアリングを中心とした脱炭素化推進プロジェクト～

脱炭素先行地域の対象：豊和・春海地区、飯倉地区、中央地区

主なエネルギー需要家：戸建・集合住宅2,432戸、民間施設44施設、公共施設11施設

共同提案者：匝瑳みらい株式会社、市民エネルギーちば株式会社、株式会社おさい電力、株式会社富士テクニカルコーポレーション、学校法人千葉学園 千葉商科大学、国立大学法人福島大学、匝瑳市植木組合、株式会社ETA Network Japan、株式会社エコグリーン、ポーソー油脂株式会社、千葉県大根土改良区、**クレアトゥラ株式会社**、株式会社EG Forest、株式会社カインズ、八日市場金融団、三菱UFJ信託銀行株式会社、特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所、匝瑳市商工会

【施策間連携モデル】
農業×脱炭素
【地域間連携モデル】



取組の全体像

市の主要産業である稲作農家が集積し、**従来から畑作営農型ソーラーシェアリング(SS)**が導入されている豊和・春海地区における**水田営農型SSの導入**等により、脱炭素化を実現。福祉・医療施設等を中核に「生涯活躍のまち」づくりを進める飯倉地区、市役所等の公共施設や商業施設が集積する中央地区と連携した**農福・防災連携**の取組により、**高齢者の雇用確保**や市街地での**レジリエンス強化**、更に営農型SSの研究・人材育成を行う**ソーラーシェアリング・アカデミー**事業の実施により、農業振興による**関係・交流人口増加**と**移住・定住の促進**を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 独自の**細型パネル**を採用し、水田2か所にオフサイト営農型太陽光発電(2,220kW)・蓄電池を導入することにより、日照量減少の影響を軽減
- ② 水田営農型SSにて発電した電力は地域新電力「**おさい電力**」經由で先行地域内の高圧需要家に供給
- ③ 住宅・民間施設等にオンサイト太陽光発電(6,128kW)・蓄電池を導入



ソーラーシェアリング(豊和・春海地区)

2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① **米ぬか**から製造される米油由来のバイオ燃料プラントを豊和・春海地区に導入し、製造された燃料を地域の**農業機械に利用**することにより軽油利用を軽減、生産した米を**ゼロカーボン米**としてブランド化
- ② 市内の植木業者から排出される**剪定枝を燃料**として活用するバイオマスボイラーを導入し、避難所となる公共施設に熱供給を実施
- ③ 植木剪定枝や放置竹林の竹等から**バイオ炭**を製造し、市内の田畑に散布し土壌改良剤として活用しながら、CO2の**農地貯留**を実施
- ④ 土地改良区による水田の給水時期調整により、**中干期間を延長**しメタンガス発生を抑制

3. 取組により期待される主な効果

- ① **営農型SSによる売電収入**、**バイオ炭**販売やそのカーボンクレジット収益等、新たな収入源を確保する**新しい農業経営モデル**の構築により、高収益化、新規就農者確保、関係人口増加を推進
- ② 営農型太陽光発電取組支援ガイドブック(農林水産省)の事例として取り上げられている市民エネルギーちばが中心となって運営する**ソーラーシェアリング・アカデミー**を通じ、**水田営農型SSのノウハウ**等を市内外に共有。また、滋賀県米原市、新潟県関川村、熊本県あさぎり町との地域間連携により、細型パネル共同調達によるコスト低減等を図るとともに、**営農型SSの普及拡大や人材育成、他地域への横展開**を推進

4. 主な取組のスケジュール

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
		水田営農型SSの太陽光発電・蓄電池導入			
		民間・公共施設の太陽光発電・蓄電池導入			
		住宅の太陽光発電・蓄電池導入			
			米ぬか由来バイオ燃料の活用		
			植木剪定枝による熱供給		
			バイオ炭による土壌改良・CO2の農地貯留		

2025.7.31

千葉県匝瑳市とのJ-クレジット創出に関する協定締結及び「カーボン・シナジー・コンソーシアム」との連携について



2025年7月31日、千葉県匝瑳市(市長：宮内 康幸)とカーボン・シナジー・コンソーシアム(事務局＝クレアトゥラ株式会社(本社：東京都港区、代表取締役CEO：服部 倫康、以下「クレアトゥラ」))は、千葉県匝瑳市における脱炭素活動の推進及びJ-クレジット創出に関する連携協定を締結しました。

現状の課題と解決に向けて

- 現状の地域の課題：地域の環境価値が埋もれている
 - 様々な脱炭素施策を推進している、もしくは、推進したいと考えている一方で、自治体施設、及び、地域の中小企業・個人の環境価値をクレジット化できておらず、有効な活用が出来ていないこと。
- 地域や企業でのクレジット化に向けての課題：
 - 登録・認証に係る手続きの事務的負担、費用負担で断念している。
- クレジットが必要な企業の課題：
 - GX-ETSの本格稼働を考慮するとクレジットを確保することが必要。



- 「カーボン・シナジー・コンソーシアム」の取り組みに参加していただき、その仕組みの中で効率的・効果的に地域に埋もれている環境価値をクレジットに変換していく

カーボン・シナジー・コンソーシアムの概要



カーボン・シナジー・コンソーシアム

- » 事務局：クレアトゥラ株式会社
- » 設立日：2025年7月18日
- » 目的：各地域にて実施している脱炭素活動において、環境価値が発生しているにもかかわらず、その価値をカーボンクレジットに出来ていないという課題があると考えている。その課題解決に向けて、各地域にネットワークを持つ会員企業とともに、地域に埋もれている環境価値を発掘・J-クレジットに変換し、その売却益を地域に還元することにより、地域の脱炭素活動の加速化と新たな地域創生の枠組みを構築してまいります。



<コンソーシアム会員企業> (2025.7.18現在) ※50音順

アストモスエネルギー株式会社、株式会社アドバコム、ES株式会社、eMotion Fleet株式会社、エコモット株式会社、株式会社サイエンスマスター、株式会社WBIナジー、株式会社TAYASU、株式会社地域創生Coデザイン研究所、東京ガス株式会社、宮崎ガス株式会社

カーボン・シナジー・コンソーシアムにおける取組内容



- コンソーシアム会員企業が保有するネットワークを活用し、地域の会員賛同者において埋もれている環境価値を発掘する
- J-クレジット制度のプログラム型プロジェクト（※）を全国規模で展開することにより、家庭・中小企業・自治体等において埋もれている環境価値を効率的・効果的にクレジット変換
- コンソーシアム事務局のクレアトゥラ（株）が仕組みにて特許を取得しているトレーサビリティシステム「Lynx Connect」を活用し、クレジットの創出元、創出量を管理。クレジット購入者との紐づけにより、クレジットの地産地消状況などの把握が可能。自らプロジェクトを立ち上げたような効果を得られる
- 複数の方法論でのプロジェクト化により、クレジットの創出機会を拡大
- クレジット販売収益の還元により、投資回収の前倒し、地域の環境活動の加速など、次の活動へ繋がる

※プログラム型プロジェクトとは

プログラム型	家庭の屋根に太陽光発電設備を導入など、複数の削減・吸収活動を取りまとめ1つのプロジェクトとして登録する形態。以下のようなメリットがある。 ① <u>単独ではプロジェクト登録が非現実的な小規模な削減活動から、J-クレジットを創出することが可能。</u> ② 登録後も、削減活動を随時追加することで、プロジェクトの規模を拡大することが可能。 ③ 登録や審査等にかかる手続・コストを削減することが可能。	・ 燃料供給会社 ・ 商店街組合/農協 ・ 設備販売/施工会社 ・ 補助金交付主体（自治体等） ・ 再造林活動の実施者
--------	---	---

出典：J-クレジット制度HPより一部抜粋

J-クレジット制度のポイント

※詳細内容については、J-クレジット制度ホームページ等でご確認ください。

➤ 「プロジェクト」を登録し様々な省エネ、再エネ設備の環境価値からクレジットを創出出来る

- 省エネ：ボイラー、照明設備、コージェネレーション、空調、冷凍冷蔵、EV/PHV、他
- 再エネ：太陽光発電、木質バイオマス、他
- 農業：バイオ炭、水田中干し延長、他
- 森林：森林経営、他

➤ 自らプロジェクトを組成せずとも「プログラム型プロジェクト」への参加が出来る

- 複数の削減・吸収活動をまとめて登録できる
- プロジェクト開始以降でも随時参加が可能
- プロジェクト登録・クレジット認証に係る費用を削減できる

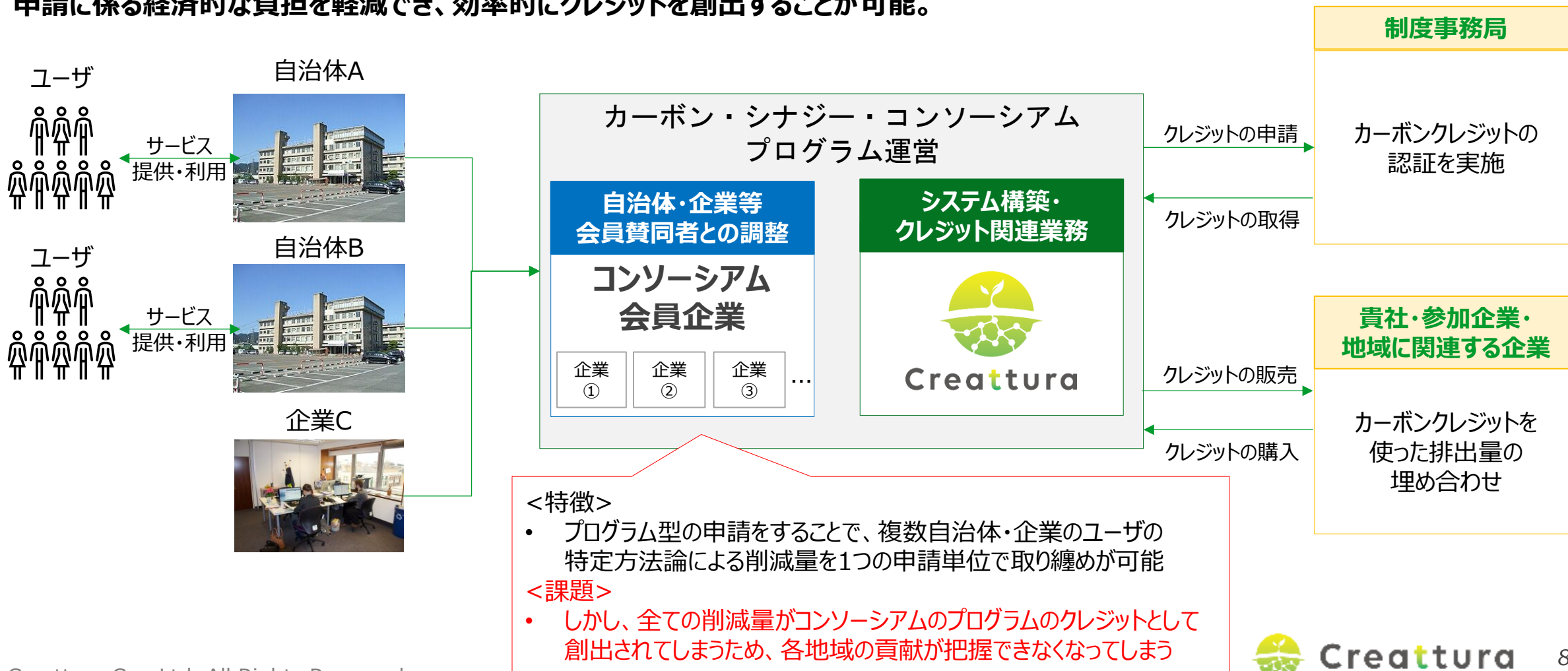
➤ » その他のポイント

- 入会の2年前以降に稼働した設備が対象
- クレジットの認証期間は8年間（最大16年間）継続
- 追加性を有すること

カーボン・シナジー・コンソーシアムの全体像

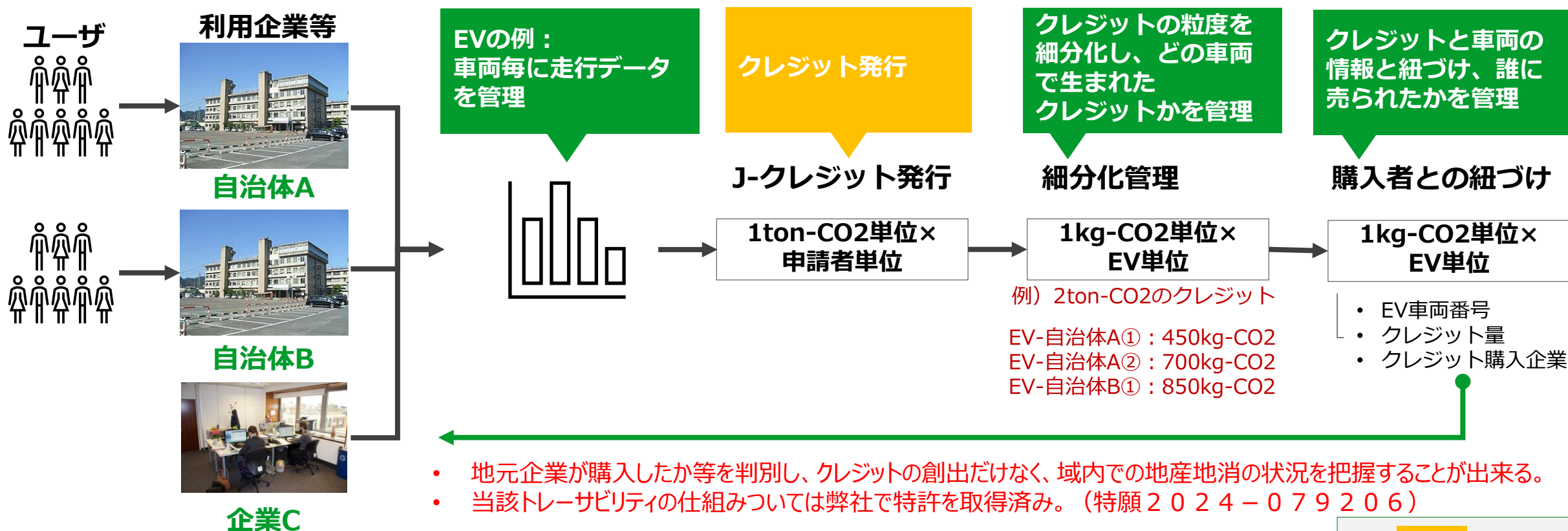


- 本コンソーシアムが取り組むプログラム型プロジェクトに参加することで、クレジット創出に係る業務の軽減、プロジェクト登録・クレジット申請に係る経済的な負担を軽減でき、効率的にクレジットを創出することが可能。



カーボン・シナジー・コンソーシアムの強み ～トレーサビリティシステム Lynx Connect～

- プログラム型の運用によって1つの申請単位として見えなくなってしまった各地域の削減活動を、クreaトラウが取得した特許を活用することで、クレジットの管理単位を細かくし、**創出されたクレジットが、どこで生まれ・使われたのか、地方の貢献や地産地消の把握をすることが可能。**
- これにより、**クレジットの地産地消を確実に「見える化」**することができ、かつ、対外的な説明根拠として客観性や信頼性を担保。
- 自治体もネットゼロ目標への寄与を特定することが可能となり、**地球温暖化対策に貢献したことを明確に謳うことが可能。**



凡例	一般的な管理内容
	弊社独自機能

登録済・予定の主なプロジェクト一覧

※第68回認証委員会以降も順次プロジェクト化予定

自治体

- » **太陽光発電設備・蓄電池** ※登録申請中
- » **バイオマスボイラー** ※登録申請中
- » LED照明 ※第67回認証委員会(12/2)で登録申請予定
- » ボイラー ※第67回認証委員会(12/2)で登録申請予定
- » 空調設備 ※第68回認証委員会(3/3)で登録申請予定

事業所等

- » **太陽光発電設備・蓄電池** ※登録申請中
- » **バイオマスボイラー** ※登録申請中
- » **水稻栽培における中干し期間の延長**
- » LED照明 ※第67回認証委員会(12/2)で登録申請予定
- » ボイラー ※第67回認証委員会(12/2)で登録申請予定
- » 空調設備 ※第68回認証委員会(3/3)で登録申請予定

ご家庭

- » **太陽光発電設備・蓄電池** ※登録申請中
- » **コージェネレーションシステム（エネファーム）** ※登録申請中
- » **水稻栽培における中干し期間の延長**
- » ボイラー（エコジョーズ） ※第67回認証委員会(12/2)で登録申請予定

各クレジット創出活動参加者のメリット

 : クレジット創出場所イメージ

自治体

・域内家庭
・公共施設

- » 小規模な活動でも**クレジット化の機会**
- » クレジットの収益により**地域の脱炭素推進の加速**
- » 地域の脱炭素活動の**可視化・PR**
- » プロジェクト登録・クレジット申請の**手続き・費用の削減**

省エネ・再エネ導入企業

・自社設備

- » 小規模な活動でも**クレジット化の機会**
- » クレジットの収益により導入設備の**投資回収の前倒し。次の活動へ**
- » プロジェクト登録・クレジット申請の**手続き・費用の削減**

地域ネットワークを持つ企業様 / 省エネ・再エネ設備を販売する企業

・販売先
企業・家庭
・自治体連携

- » 地域・取引先への**環境価値のクレジット化による収益モデル提案**
- » 出自の明確なカーボン・オフセット源の確保
- » クレジット**入手手段の確保**
- » 関係地域での**貢献のアピール**

免責事項

- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の業界動向等の変化により、内容が変更となる場合がございます
- 本資料を使用した結果について、弊社は責任を負いません
- 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いてクレアトゥラ株式会社に属し、いかなる目的であれ、本資料の一部または全部の無断での使用・複製はお断りいたします

ありがとうございました

☎ +81 03-6777-7880

✉ info@creattura.com

🌐 www.creattura.com

